

平成30年度学校教育アンケート集計結果と考察について

7月に御協力いただきましたアンケートの集計及び結果の分析ができましたので、御報告いたします。

アンケートの回収率は93%で、保護者の皆様に教育活動のありようを評価していただきました。本年度は20項目について4段階評価で評価し、「良く出来ている」と「出来ている」という回答を肯定的な評価として判断しています。今回の評価結果を真摯に受け止め、今後の学校経営並びに運営に生かしてまいります。

◆学校運営①～④の項目について

- ・①②④の項目については、小中学部ともに肯定的評価をいただいています。特に、①については、今後とも開かれた信頼される学校づくりを目指して、迅速で確実な情報を学校通信や学年通信、学校ホームページ等を通して発信していきます。
- ・③の項目については、概ね肯定的な評価は得られていますが、小中学部ともに「あまり出来ていない」と「出来ていない」の割合が20%前後であることから、十分に満足されていないという結果になっています。いつでも相談しやすい雰囲気づくりに努め、迅速な対応に努めてまいります。

◆学力向上⑤～⑧の項目について

- ・⑤⑦の項目については、概ね肯定的評価をいただいています。
- ・⑥の項目については、小中学部ともに「あまり出来ていない」と「出来ていない」の割合が30%前後であるという評価は真摯に受け止めなければなりません。教員は常に児童生徒同士がかかわり合い、わかりやすい授業に心がけていますが、さらなる授業改善や教材研究に積極的に取り組んでいく必要があると判断できます。そして、授業や生活全般において個々に応じた適切な助言、目配りや気遣いが求められていることも全教職員が意識していくことが必要であると考えています。
- ・⑧の項目については、「あまり出来ていない」と「出来ていない」の割合が、小学部では21%、中学部では33%であることから、発達段階に応じた家庭学習の在り方について見直す必要があると考えます。

◆心の教育⑨～⑫の項目について

- ・⑨⑩⑫の項目については小中学部ともに肯定的評価をいただいています。⑪の項目については、他項目より若干評価が低くなっています。児童生徒と教職員の心開いた関係づくりに努め、一人一人に適切な対応ができるようにしていく必要があると判断できます。道徳の授業だけでなく、他教科においても心の教育を推進し、人権意識を高め、自発的に前向きに取り組む児童の育成を目指していきたいと考えます。

◆安心・安全・体力・健康の充実⑬～⑯の項目について

- ・⑬⑭⑯の項目については、小中学部ともに肯定的評価をいただいています。学校は児童生徒にとって、安全安心な場所であればなりません。日々の安全指導の充実を図り、施設設備の整備修繕に努めていき、よりよい環境整備に努めていきます。
- ・⑮の項目については、小中学部ともに他項目より若干評価が低くなっています。新体力テストの結果をもとに、本校の実態を全教員で共通理解し、体育科の授業や諸活動を通して継続的な取組が必要であると考えます。

◆特色ある教育活動⑰～⑳の項目について

- ・⑰⑱の項目については、肯定的評価をいただいています。⑰の項目のイメージングについては、授業での英語の使用は必須であると考えます。I Sコーチとのコミュニケーション、学年の発達段階に応じた英語による指導などについて留意しながら授業を進めていきたいと思えます。⑱の項目の現地校との交流活動や体験的な学習については、生活科の学習や総合的な学習を中心に、体験活動やマレーシアの伝統文化を取り入れた活動が御理解いただけていると判断できます。
- ・⑰の項目については、「あまり出来ていない」と「出来ていない」の割合が小学部は35%、中学部は24%という評価をいただきました。特に、小学部では、自由記述においてもさまざまな御意見をいただいているので、よりよいEC教育について検討していく必要があると判断できます。
- ・⑳の項目については、「あまり出来ていない」と「出来ていない」の割合が小中学部ともに35%という評価をいただいています。今年度の重点課題として、ICT教育を掲げているので、普段の授業でのICT活用についての情報交換や職員のスキルアップを行うなどして、実践を積み重ねていきたいと思えます。

◆自由記述について

- ・保護者の皆様から、好意的な御意見や厳しい御意見をいただきました。これからも子ども一人一人を大切に、子どもたちの健やかな成長に、そして、皆様の信頼に応える開かれた学校づくりに活用していくことができるよう、全職員で教育活動にあたっていきたいと思えます。